

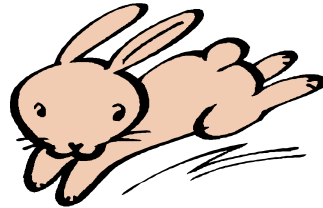
仏蘭西料理 春陽亭

テラスのそよ風

Vol.6
Decemeber, 2003

菓子工房 ペシュ

■「テラスのそよ風」は、仏蘭西料理・春陽亭及び菓子工房・ペシュとお客様を結ぶ定期刊のニュースレターです。
お客様にもっとも当店を身近に感じて頂けるよう、様々な話題を満載してお届けします。
どうぞご期待ください。



あ、あ大怪我を！！

あまり、もがきもしないし、元気ないなあ、おかしいなあ、と思って手首をひねって顔をこちらに向けると、なっ！なんと！のどというか胸というかとにかくそのあたりがザックリ切れて大怪我をしているではありませんか！！
痛々しくてみてもらえないほどの大怪我です。

いわゆる瀕死の状態です。これは困った、どうしようか……どうしようもない。しかしそのままにしておくわけにもいきませんので、箱に入れてその夜家へつれて帰ることにしました。

そんな哀れな赤ちゃんウサギの姿を見て、なんとかならないか、と翌朝動物病院に連れて行きました。
さすがに獣医さんでもあまり処置のしようもない状態だったそうですが、一応傷口に薬を塗って包帯をし、薬と母乳の代わりに豆乳を与えるようにと、そのための細い針のない注射器のような器具を頂きました。傷の原因はたぶん猫のツメでやられたのでは、ということでした。生存の確率も低いと思わず、とおっしゃっていました。

店主のひとり言 from Atami

皆様、こんにちは。
春陽亭の店主、漆畑孝司です。

2003年も残りわずか、新しい年に入ろうとしています。2004年度も春陽亭を皆様に楽しんでいただけるよう、力を入れていきたいと思えます。そしてニュースレターも。

さて、ニュースレター第6号の店主のひとり言は、野うさぎ話です。

ミニウサギ？現る！

先日、私が庭の見回りをしていると、園路のすぐわきに、黒っぽいモコモコした毛で覆われた、テニスボールほどのものがありました。何だろうと近づくと、それはピョコピョコ動き出しました。一度止まってチラッとこちらを振り向くと草むらの中へまたピョコピョコ入って行ってしまいました。
「ん？？なんだろう？？ミニウサギの赤ちゃんみたいだったけど……」

調理場に戻ったもののどうも気になって、あんな赤ちゃんミニウサギでは野良猫にでもカラスにでもすぐにやられてしまいますからね、もう一度庭を見て回ることにしました。

植え込みの中など探しましたがどこにも見当たりません。庭をグルッと回ってさっきウサギを見つけた場所のすぐ近くまでくると「いました！」

木の根本にうずくまっているではありませんか。そう〜と手を伸ばすと意外に簡単に手のひらに納まってしまいました。

(前ページより続く)

それから毎日の看病のかいあってか、だんだん傷口がふさがってきてなんと！治ってしまいました。獣医さんも、良く生き延びましたね、すごい生命力ですね、と驚いていました。それからどんどん成長していったのですが、大きくなるとともにこれってミニウサギ？先生もミニウサギでしょう、と行ってたけれど・・・？

それは野うさぎだった！

足がやけに大きいなあ？やけに動きにスピードがあるなあ？これってひょっとしてもしかすると野うさぎ！！そう、それは捨てられたミニウサギではなくこの山に生きていた野うさぎだったのです。

当時うちでは七匹のミニウサギを飼っていました。ウサギが増えると飼いきれなくなってしまうのでメスを2匹購入したのです。ところがなぜか赤ちゃんが生まれて7匹になってしまいました・・・？！そこに野うさぎが加わり8匹に・・・。野うさぎには子供が「ハチ」と名づけました。銭形平次の子分にちなんだわけではありません。8匹目だからです。

ハチは野うさぎ。成長とともに他のウサギとはスピードもパワーもまったく比較にならないほど強くなりました。ある日ゲージの清掃をしようとして庭に出したらジャンプ一発でゲージを弾き飛ばして逃げ出したことがあります。ちょうどそこに野良猫がやってきてハチに襲い掛かりました。「やられた！」と思いました。が、ハチは猫から身をかわすとしなやかに驚くべきスピードで加速します。猫も「ギャーギャー」いいながら必死で追いかけてますが、まったく相手になりません。家の周りを2周して猫はあきらめてどこかへいってしまいました。「だつのごとく」と言葉では良く聞きますが、じかにこの目で見たのは初めてでした。

走り出しの、野うさぎの、そのしなやかな力強さ、フォームの美しさ、想像以上のスピード・・・どんな高級なスポーツカーでもこれほど美しく走れないだろうな、と思うほどでした。

そんなハチも1度目の脱走は戻ってきましたが、2度目脱走したあと近くまで来るのですがもうゲージに入ることはありませんでした。やがて近くでも姿を見ることもなくなりました。どうしているんでしょうね。生命力の強いハチの事ですから「だつのごとく」の山を走り回っているのでしょうか。この山にまだまだいろいろな動物が生きているのですね。

お客様の声～レストランから

♪とてもゆったりと気分の良いひと時でした。お料理はいつも期待を裏切りません。細かな心配りをしてくださりながら、それを少しも感じさせない自然体のサービスにはいつも感服しています。また参ります。どうも楽しいひと時を過ごさせていただきありがとうございます。

♪春陽亭からの眺めはとても素晴らしいものでした。丘の上から一望できる海のすばらしかったこと！もちろん料理のほうは言うまでもありません。一品一品どれを頂いても丁寧な味付けに満足しました。スタッフの方の優しい心遣いに心が温まる思いでした。町の喧騒から解放たれとてもゆったりした気分でおいしい料理を頂くことはとても贅沢なことだとつくづく感じました。

景色・雰囲気・心遣い・そしておいしい料理、皆で春陽亭の大ファンになりました。残念ながら熱海に出かけることは余りありませんが、また近くに行った折には是非是非寄らせてください。



かわいらしいけど活発な野うさぎ

※野うさぎといえばフランス料理では定番の伝統的な食材です。また養殖されたウサギは、家庭でも広く使われる人気のある食材です。学校給食でもでるそうです。味は淡泊、鶏肉に近い感じといわれます。中国では食用の動物を「飼っても可愛いし食べても美味しいよ」といって市場で売っていると聞いたことがあります。さすがにペットとして飼ってしまうと、かわいいのでチョット食べられないですね。

お客様の声～ペシユから～

♪先日熱海の春陽亭へ出かけました。こちらも美味しかったです。ダイエットを中断して、たくさんいただいてしまいました。お店も海に見える眺めのすばらしい場所にあるんですね。またよろしく願います。今後ともがんばってください。



♪「こくがあって甘すぎず今までに食べたことがない味だ」とお父さんが言っていました。おかげさまで素敵な父の日の贈り物が出来ました。ありがとうございました。

♪この度は、洋梨のタルト、送って頂き、ありがとうございました。さっそく、お味見させていただきましたが、洋梨の風味が生きた、上品なお味で、とてもおいしく頂きました。重くないので、いくらでも食べられそうだと、社長の落合とも話しておりました。実は、私は以前、東京の広尾にある、某有名洋菓子店でアルバイトをしていた経験があるので、ちょっとケーキの味には敏感な方で、こうして感想をメールさせて頂いていますが、東京だったら、あのお味であのお値段のケーキってまず、ありえないので、とても感激いたしました。ホームページも拝見させて頂きましたが、どれもとてもおいしそうで、しかも、良心的なお値段なので、驚きました。



今月の食材解説

ぶり

全長約1メートル。スズキ目の海魚で、成長するにしたがって呼び名が変わる。出世魚として縁起のよい魚です。たんぱく質、脂肪、ビタミンが多く含まれ栄養面でも抜群です。特にブリは皮がおいしいので、皮ごと調理したほうが良いそうです。この時期、ぶり大根などおいしいですよ。



ぶり大根

ATAMI AREA INFORMATION

熱海エリア情報



【熱海花の博覧会】

4月8日～10月11日に浜松市で開催される「しずおか国際園芸博覧会 浜名湖花博」のサテライト会場として行われる花の祭典。

メイン会場では「恋人たちの庭」として星座ごとに分かれたテーマガーデンが予定されています。是非自分の星座のガーデンはもちろんのこと、お友達のガーデンなどのぞいてみてくださいね。そのほかにも、「あたま花博プラザ」「ストリートガーデン ショップ」「ワールドポットガーデン」「フェスティバルガーデン」など様々なコーナーがあります。

- ◆開催 2004年3月18日～5月23日
- ◆開催時間 9:00～17:00
- ◆会場 熱海港観光施設用地(和田浜南町)
- ◆当日券 大人1800円・子供800円(前売り券も有り。詳しくは推進実行委員会事務局0557-86-6222へ問い合わせ下さい。)



COLUMN

"ペシュ"ニュース



ロビンソン百貨店催事



秋のフードフェスティバルにペシュから焼きりんごを出しました。普通の焼きりんごではつまらないですから赤ワインを煮詰めて使ったり、一味二味工夫をしました。おかげさまで期間中行列もできたりして予想以上に好評で、331個販売しました。ありがとうございました。

ロビンソン百貨店開店3周年のイベントで福袋をやりました。ペシュの福袋は、プレゼントつき福袋、日ごろのご愛顧の感謝を込めて春陽亭お食事券などが当たる福袋です。限定100個のつもりだったのですが、おかげさまで好評であつという間に無くなってしまい急いで追加60個何とかご用意させていただきました。ありがとうございました。



シリーズ／お菓子

第6回

毎回お菓子に関する様々なうんちくを語るというこのシリーズ。



第6回は『シュークリーム』。小さいころから食べ親しんできたシュークリーム。「シュー」とはフランス語でキャベツと言う意味だそうです。由来は、何となく、膨らんだ姿がキャベツに似ているから。元々は職人さんがスポンジを作る時に失敗した生地を焼いて出来上がったそうです。表面がパリパリとして風味があり、中のカスタードと混ざり合うと一層おいしく、口の中はとろけそうな感じになりますよね。

店主ご挨拶

平素は大変お世話になり、誠にありがとうございます。

2004年はサル年ですね。サルは昔は山にいましたが、最近では年に2~3回庭に入ってくるようになりました。エサがある場所へ行くのにうちの庭を横切る必要があるようです。

2004年も私の周りで起こったことを初め、様々な話題を提供していこうと思っています。

今後ともよろしく願い致します。



店主
漆畑孝司



編

集

後

記

『テラスのそよ風』第6号はいかがでしたでしょうか？次回もより皆様に春陽亭とペシュの内部を知っていただけるように内容を盛り込んでいきたいと思っています。楽しんでいただけるニュースレターをお届けしたいと思います。どうぞ、お楽しみに！

年末年始の営業は、
12/23(火)営業、12/26(金)振替休日
12/30(火)定休日、12/31営業、1/1営業
1/5,6休みです。

静岡県熱海市伊豆山大黒崎270-2
春陽亭(火曜日定休日)
TEL.0557-80-0288
Fax.0557-80-0305
PECHÉ熱海店 TEL.0557-81-3607
PECHÉ湯河原店 TEL.0465-63-4161
ロビンソン百貨店小田原1階食品館TEL.0465-49-8544